

生活保護扶養義務の強化

親族の収入・資産まで調査可能

「水際作戦」の道具に

参院での審議に移った生活保護法改悪案は、親族の扶養については、制度の入り口で利用者を締め出すしかけを幾重にも盛り込んでいます。その一つが、親族による扶養を事実上の要件に変える改悪です。資産や収入を徹底して調べ、生活の苦しい親族にも仕送りを迫るもの。生活保護の申請者を窓口で追い返す「水際作戦」の強力な道具になると、批判が強まっています。

現行の生活保護法は、親族の扶養については、「民法に定める扶養義務者の扶養」は保護に優先して行われる「要件であるかのような説明を福祉事務所が行う事例が問題になってきました。別れた夫や

しかし、実際の運用では、あたかも親族による扶養が保護開始の要件であるかのような説明を福祉事務所が行う事例が問題になってきました。別れた夫や

生活保護法改悪案の廃案を訴えて国会に向かいデモ行進する人たち（11日、東京・霞が関）



焦点

別居している子ども、兄弟姉妹に面倒をみてもらうよう述べて、申請を受け付けない違法な対応です。

日弁連の全国一斉生活保護電話110番（2006年）では、違法な「水際作戦」の可能性が高いと判断された118件のうち、

「扶養義務者に援助してもらいなさい」との対応が最も多く、49件を占めました。

銀行・雇い主に

今回の改悪案は、実施機関の調査権限を強化することで、扶養を事実上の要件に変え、「水際作戦」にお墨付

きを与えるものです。改悪案は、生活保護と脅すことが可能になる。生活保護の申請をする人の扶養義務者に対し、収入や資産の状況の「報告をもとめる」との条文を新設。官公署などへも「必要な書類の閲覧もしくは資料の提供を求め」、銀行や雇い主にも「報告を求めることのできる」としています。

先に照会をかけるぞ。生活保護法改悪案と同時に審議されている「子どもの貧困」法案は、親から子への貧困の連鎖を断ち切ることと理念とし、生活保護世帯の子どもの高校進学率改善などを盛り込んでいます。

ところが、高校や大学に進学し、就職して独立した子どもに対しても、親への仕送りを執拗（しつよう）に迫るのが今回の改悪案で、「貧困の連鎖を助長するものだ」と批判されています。

十分な審議を行ったうえで、貧困と格差を拡大する生活保護法改悪案は廃案にすべきです。（鎌塚由美）

今回の改悪案は、実施機関の調査権限を強化することで、扶養を事実上の要件に変え、「水際作戦」にお墨付